

冬の暖かい木漏れ日のなかで ジファーと過ごす午後

約1年にわたって紹介してきたジファーのルーフトップテント・マジョリーナ。そしていよいよ冬がやって来た。今回はオートキャンプ場でのんびり過ごすルーフトップシーンを紹介。ゆっくりと過ぎる時間を楽しんで……



木漏れ日の差し、落ち葉が一面に広がるキャンプ場でのんびりと過ごすのはいいものだ

自然に溶け込む ルーフトップテント

木漏れ日が眩しい雑木林を枯れ葉が覆う。サクサクと気持ちいい音をたてながら冬のキャンプ場を歩いていく。「このサイトにしようか」そう言う僕らはクルマを取りに戻った。雑木林に囲まれたこの場所にいるのは僕らだけ。サイトにクルマを進み入れる。どうやら彼女はいつもと違ったキャンプ場の雰囲気戸惑っているようだ。「今日もこのテントに寝るからね」といってルーフトップに載っているマジョリーナに目をやる。この1年間、マジョリーナは僕らのキャンプを支え、そして気軽なキャンプシーンを確立させた。もう、ジファーなしではキャンプができない。いほどこのテントに惚れている僕。マジョリーナ右後方にハンドルを差し込み、慣れた手つきでグルグル回す。『そういうえばこの一年はテントを張ってないな』と、ふと思う。そう、ずっとマジョリーナにお世話になりっぱなしだ。設営があまりに簡単すぎて、普通のテントを張るのが億劫になったのかな。「それにしても静かだね」そう、彼女は冬キャンプ初体験。いつもたくさんの人で賑わっていたのは遠い夏の記憶だ。立ちのぼる焚き火の煙りと炎、空がオレンジ色に変わっていくのをいつまでも眺めていた。

冬ならではの工夫をしよう



↑ルーフトップでのんびりするときには膝に電気毛布があるといい



↑キャンプ場に電源があれば、こういった電気毛布の使用も可能だ

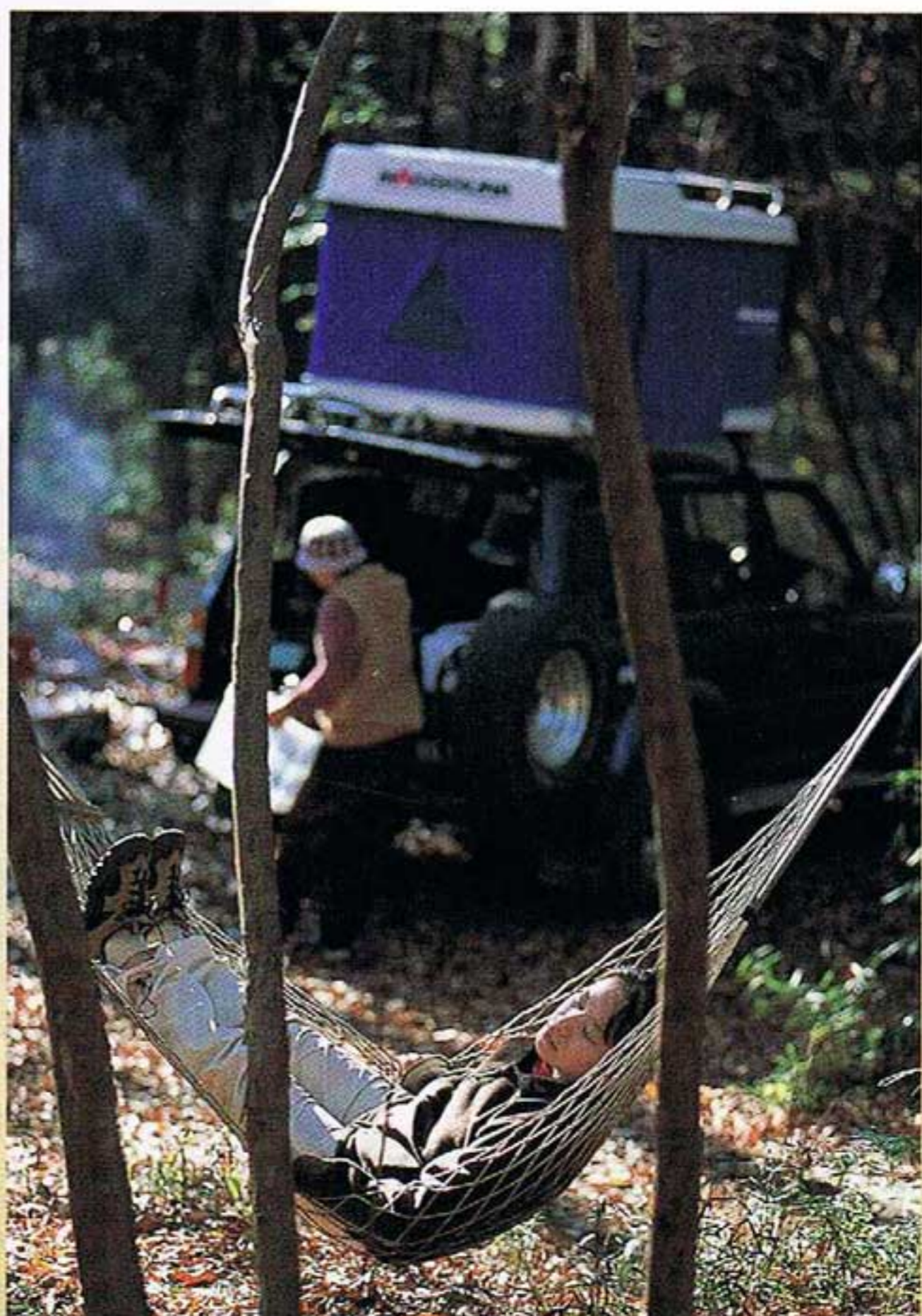


→クリップ式の電気ライトを装着してみた。暗い室内もこれで解決できるミニアイデア



↑コードリールがあれば、マジョリーナ室内に簡単に電源を引き込める

マジョリーナに直接電源の引き込みもできるが、AC電源のあるキャンプ場ならコードリールを使うのも便利だ。寒い冬はホットカーペットや電気毛布を使うと快適度はさらにアップする！



↑自分の好きなことを自由にできる。そこにマジョリーナがいつもあった